



佐賀子どもシェルター  
ばるーん

子どもたちから見た大人たち

「ばるーんのスタッフは、みんなお互いにリスペクトし合っているように見える」。これは、数か月前にばるーんを巣立っていったA子さんの言葉です。

私がばるーんのスタッフになって1年余り。24時間365日体制で子どもたちと関わっているこのスタッフは、これまでの経歴も様々、持っている資格も様々、趣味や特技も様々、得意とする料理も様々です。でも、“子どもたちを大切に思う気持ち”、そして“スタッフを思いやる気持ち”これは全員に共通していると感じている毎日です。スタッフ同士ニックネームで呼び合い、子どもたちと食卓を囲む時は、もう一人のスタッフが作った料理に「これ美味しいね！作ってくれてありがとう」、誰かが体調不良や家庭の事情で休む時は、「そんな時はお互い様だから、気にしなくていいよ！」…そんな言葉が自然に出るばるーんの環境です。そんな毎日の風景を見て、先述のA子さんの言葉があるのかなと感じました。

私はこれまで、約15年ほど前から仕事やボランティアで常に子どもたちと関わる環境にいました。乳幼児、小学生、中学生、高校生、様々な年代の子どもたちと関わってきました。以前勤めていた保育現場で、隣のクラスでこんな場面を目の当たりにしたことがあります。1歳児担任の新人B先生に強い口調で責めるように話す複数

の副担任。その瞬間、1歳のCちゃんはB先生に近づき、B先生の顔を見ながら一言「Bしえんしえー、だーしゅき（大好き）！！」と言ったのです。新人で不慣れながらも、子どもたちを愛する気持ちは人一倍強かったB先生。CちゃんはそんなB先生の事をよく見ていました。自分を大切にしてくれるB先生を守りたかったのだと思います。その良くない雰囲気や1歳の子に敏感に感じ取らせてしまった事は、間違いなく大人たちの振る舞いの影響であり、同じ保育現場にいる大人として反省しました。しかし同時に、子どもたちに対するB先生の想いは、しっかり伝わっているんだとも感じました。

子どもたちは、いくつであっても大人の言動、大人同士のやり取りをよく見ていると感じます。それは、大人が思っているよりもずっと鋭い目で。そして大人が思っているよりもずっと純粋な心で。

ばるーんに来る子どもたちは、ケースは様々ですが、少なからず“大人”に対する不信感を抱いている場合も多いのではと思います。そんな子どもたちが、ばるーんという温かな環境で少しでも「大人に愛されてる！」「大人に認められた！」「大人も信用してもいいのかも！」そんな気持ちを持って、自分の道へと巣立って行ってくれる事を願ってやみません。  
スタッフS・N

星に願いを☆

7月7日の七夕に合わせて、ばるーんでも願い事を書きました♪入居している子ども、スタッフもそれぞれの想いを込めた短冊を飾っていました☆

そしてご飯の時に並ぶ七夕メニュー！星がいっぱいの食卓に、喜ぶ子どもたち。子どもたちの願いが、そして今これを見てくださっている皆様の願いが叶いますように・・・☆



“したい！”という気持ち

ばるーんに来たすぐは、『料理は出来るけど、人から見られるのがちょっと嫌で…』と苦笑いしていたAちゃん。

しばらく経ったある日、スタッフが「無理はしなくていいよ」と言いながらお菓子作りに誘うと、『やります！』との返答が。その日を境に、Aちゃんの“お菓子作りたい”という気持ちは日に日に増していきました。

ブルーベリーケーキ、水饅頭、さつまいもプリン、シナモンロールなどなど…『今日は〇〇を作ろうと思ってます』と話すAちゃん的笑顔が嬉しい日々です☆

お菓子だけではなく、スタッフと一緒に食べるお昼ご飯まで作ってくれました！プロ並みに美味しいお菓子や料理をAちゃんと一緒に食べる時間は、スタッフも幸せいっぱいです♡



## 第2の居場所 “おむすび”

今年度から、ばるーん第2の居場所として多久市納所小学校の跡地「納所交流センター」を利用させていただいております！その名も「おむすび」♪

この名前には、支援を必要とする人、支援をしたい人をつなげる場所などの意味が込められています。毎週土曜日にオープンし、原則毎月第4土曜日には「発酵クッキング」と題し、元調理師という経歴を持つスタッフが活躍！

入居している子と、来てくださった皆さまと、スタッフと楽しいお食事タイムを過ごしています☆

今回はその様子をご紹介します！

入居していた子が個展を開きました！



この日のメニューは塩麴と甘酒のラタトゥイユ 🍆

にんにく麴のえび炒めとトマトゼリー 🍅



## ～ボランティアさん いつもありがとうございます～

ボランティアさんとのピザ会 🍕



ボランティアさんと一緒に「イオン幸せの黄色いレシート活動」に参加させていただきました！

